

那覇第二地方合同庁舎二号館落成記念式典祝辞

本日、沖縄総合事務局の新庁舎として、那覇第二地方合同庁舎二号館の落成記念式典が執り行われますことを大変喜ばしく思っております。

昭和 47 年の沖縄の本土復帰以来、沖縄総合事務局は一貫して沖縄の振興開発の中核的な機関として、重要な役割を果たしてきました。

その結果、社会資本整備を中心に次第に本土との格差が縮小するなど一定の成果を上げてきておりますが、一方で、沖縄の社会経済は厳しい状況にあるなど、今なお多くの課題を抱えております。

このため、沖縄振興計画の後期展望を踏まえ、民間主導による自立型経済の構築を図るとともに、沖縄の優位性を最大限発揮した特色ある地域として整備することが重要となっております。

そのような中で、政府の諸施策を一元的、効率的に推進する国の総合出先機関として、沖縄の実情や県民の方々の様々な期待に対応したきめ細かな施策を推進するという沖縄総合事務局の役割は以前にも増して重要なものとなっております。

今後とも、那覇新都心を拠点に、行政の核として、他の国の機関のみならず、沖縄県や市町村などとよく連携・協力し、沖縄の更なる振興・発展の一翼を担っていただくことを期待しております。

また、ここ那覇新都心のシビックコア地区は、官公庁施設の集約により、地元の方々の利便性の向上を図ることなどを基本方針として整備されております。

新庁舎においても、災害発生時に迅速に対応できるよう専用の災害対策室を設け、沖縄総合事務局の機能を強化するとともに、行政情報プラザを整備するなど、地元の方にとって身近な施設となっております。

これを機に、これまで以上に県民の利便性に配慮し、県民の頼れる行政機関として、その機能を十二分に発揮されることを祈念し、祝辞に代えさせていただきます。

平成二十年五月十五日

内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）

岸田 文雄